

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に 
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任 つかう責任 
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさも守ろう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

出典：外務省 HP (<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>)

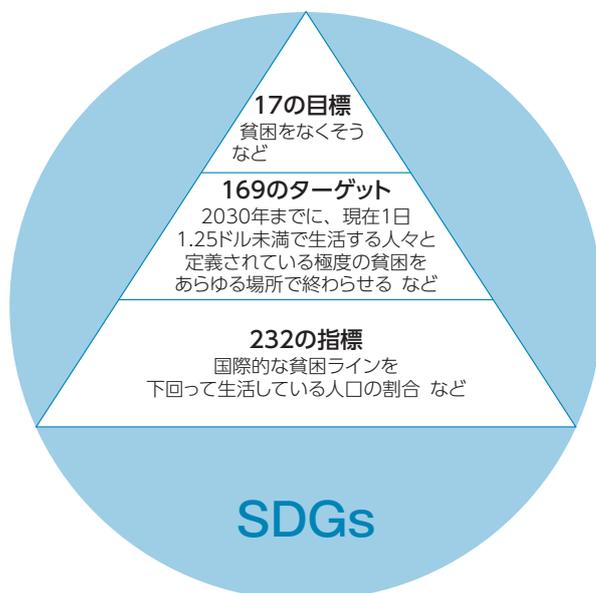
SDGsの 実現を目指して

SDGsとは

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで、全会一致で採択された「持続可能な開発のためのアジェンダ2030」に掲げられた目標のことです。

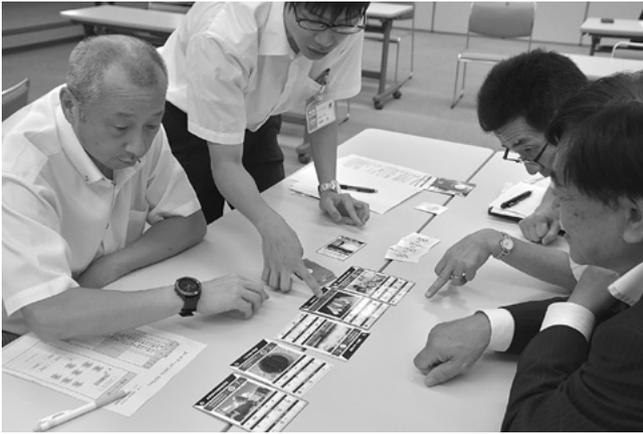
2016年から2030年までの国際目標で、地球規模での持続可能な社会づくりを目指し、2030年に世界がどのような状態にならなければならないかという成果目標を掲げています。

具体的には、貧困をなくそう、住み続けられるまちづくりを、気候変動に具体的な対策をなど、17の大きな目標と169の具体的なターゲットで構成され、さらに具体的な数値目標が書かれた232の指標があります。



皆さんは、SDGs(エスディージーズ)という言葉を目にしたことはありませんか。
お笑い芸人のピコ太郎さんが、2017年に国連でSDGsのPPAPバージョンを披露したことで、覚えている人もいらっしゃるかもしれませんが、あまり私たちになじみのない言葉です。
そこで、今回SDGsの実現に向けて、市議会が主体となって取り組んだ内容をご紹介します。

国議会事務局
TEL 22-6840



山県市での取り組み

SDGsとは、全ての人が協同的なパートナーシップのもとに達成するべきものです。

そこで、市議会が主体となり、市職員の協力を得てカードゲーム「2030SDGs」(ニイゼロサンゼロ エス ディー ジーズ)公認ファシリテーターの辻晃一氏を講師に招き、SDGsの理念などを体験的に理解し、山県市における持続可能な社会づくりのヒントとなるよう研修を行いました。

研修では、年上議員、年下議員、市幹部職員、市若手職員が7つのグループに分かれ、「お金」「時間」のカードを使ってインフラ整備などのプロジェクトを進めました。

達成度に応じて、経済、環境、社会の指標が変化するため、参加者は刻々と変化する世界状況を意識しながら、熱心に話し合いを繰り返しました。

参加者からは、「はじめは自分のグループ目標の達成のみ意識していたが、それだけでは森林破壊が進んでしまうといった影響も出てしまうことに気づき、途中から世界やほかのグループへの影響を意識するようになった」と感想がありました。辻氏は、「自治体組織は、さまざまな年齢層の職員、議員などで構成されており、関係部署で連携して業務を行うこともある。こうした参加者での取り組みは

先駆的でとても意義深い機会であったと思う。自分の働き掛けが一見無関係に見える出来事にまで波及することもあるなど、世界がつながっていることを認識していただけたらと思う」と語られました。

「2030SDGs」は

このカードゲームでは、与えられた「お金」と「時間」のカードを使って、プロジェクト活動(仕事)を行うことで、最終的にそれぞれに与えられたゴールを達成するというものです。

それぞれがプロジェクトを行うことで、経済、環境、社会の世界状況メーターが変化するため、どのプロジェクトを行うかで世界状況が刻々と変化し、現在から2030年までの道のりを体験することができるゲームです。

